

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	バイオクライマティックデザイン小委員会		主 査 名：須永 修通 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (熱環境運営委員会)		委員長名：井上 勝夫 主 査 名：銚井 修一
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に付与された自然環境のポテンシャルを活用する設計手法の確立。 ・ アジア諸国を含めた亜熱帯・温帯・亜寒帯における自然のポテンシャルを活用した建築や都市に関する研究事例・設計事例の収集。 ・ 上記に関するさまざまな要素技術の統合化手法についての検討。 ・ 上記に関する刊行物の発行(作成準備 WG を 07 年度から開始する)。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無(前身のバイオクライマティックデザイン WG の委員構成を活用) 須永修通(主査・首都大学東京) 宇野朋子(幹事・独)文化財研究所) 斉藤雅也(幹事・札幌市立大学) 石原修(熊本大学) 菅原正則(宮城教育大学) 岡本幹太郎(日本設計) 木村建一(元早稲田大学) 小玉祐一郎(神戸芸術工科大学) 宿谷昌則(武蔵工業大学) 鈴木康司(OM研究所) 高間三郎(科学応用冷暖研) 辻原万規彦(熊本県立大学) 土屋美佳(東京大学) 野沢正光(野沢正光建築工房) 長谷川兼一(秋田県立大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2007 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s14/	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 自然のポテンシャルを活かした建築や住まい方、その支援に関する研究事例・設計事例の収集、およびその統合化手法に関する議論が進んだ。 2. 次年度、バイオクライマティックデザインブック作成準備 WG を設置することを決定し、刊行物を本小委員会で刊行する準備が整った。 3. 電子会議(第 4 回)を実施した(今後も活用予定)
委員会活動の問題点・課題	小委員会の専用ウェブサイトの有効活用。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。